

総合リサイクラー リバー 鉄スクラップ高品位化にむけて



1.“静脈メジャー”を目指す新会社TRE HDを設立

地球環境に対する“想い”が一致、(株)タケエイとリバーホールディングス(株)が、2021年10月1日に経営統合



TREホールディングス名前の由来

Try
Technology
Recycling
Renewable Energy
Earth Ecology

挑戦する
新たな技術開発
リサイクル事業の深化
エネルギー事業の推進
地球環境の保全

企業理念	地球の環境保全に貢献する。
設 立	2021年10月1日
本 社	東京都千代田区
代表取締役	代表取締役会長 松岡直人 / 代表取締役社長 阿部光男
資 本 金	100億円
従 業 員	連結：2,393名
グループ事業内容	廃棄物処理・再資源化事業、資源リサイクル事業、再生可能エネルギー事業、環境エンジニアリング事業、環境コンサルティング事業
子会社等	子会社 39 社 持分法適用関連会社：6社
グループ拠点数	68 拠点 首都圏及び東北、北陸、甲信、関西他 / 海外(タイ)1拠点
グループ主要顧客	大手建設会社、ハウスメーカー、大手製鉄会社、商社等

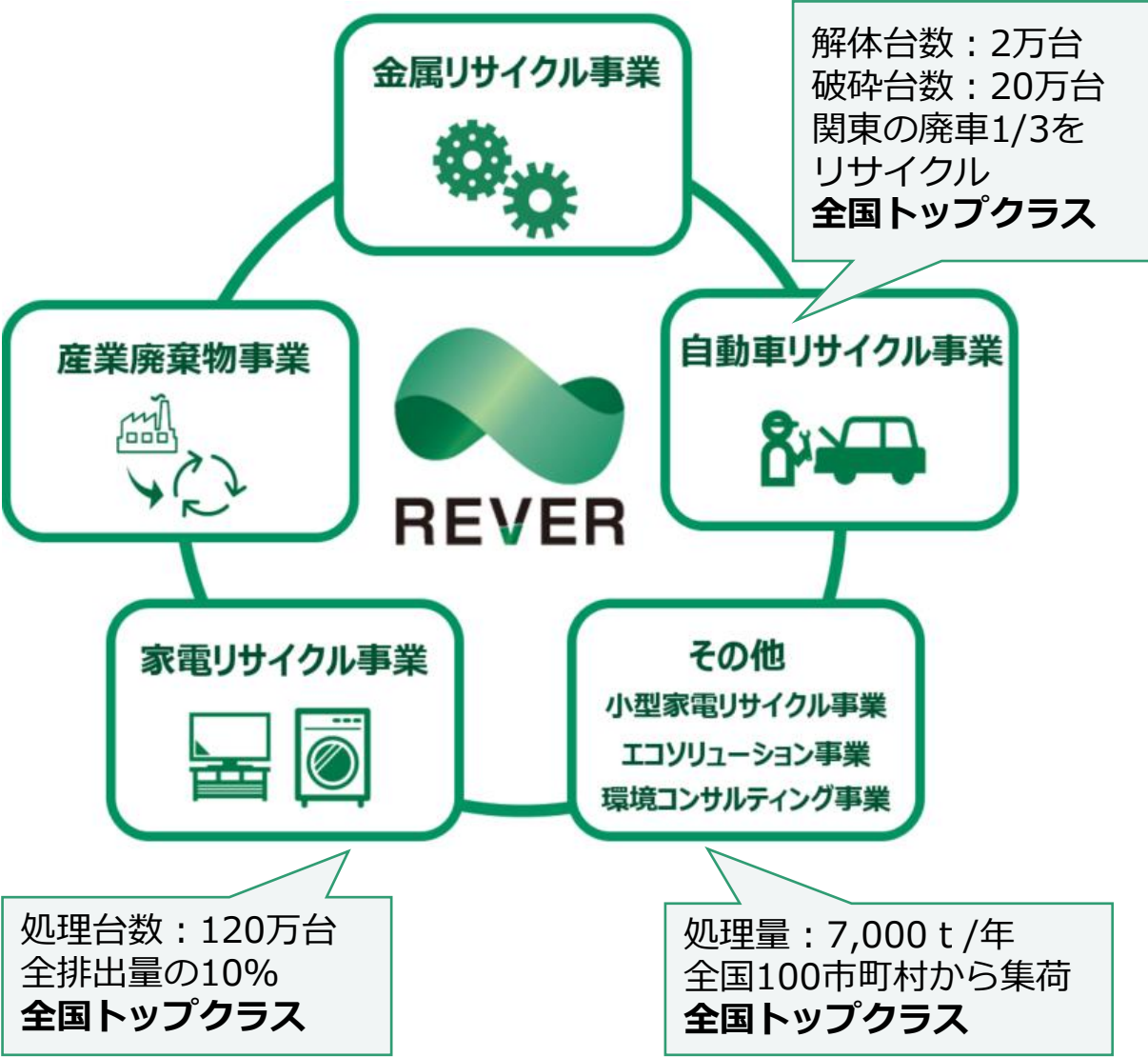
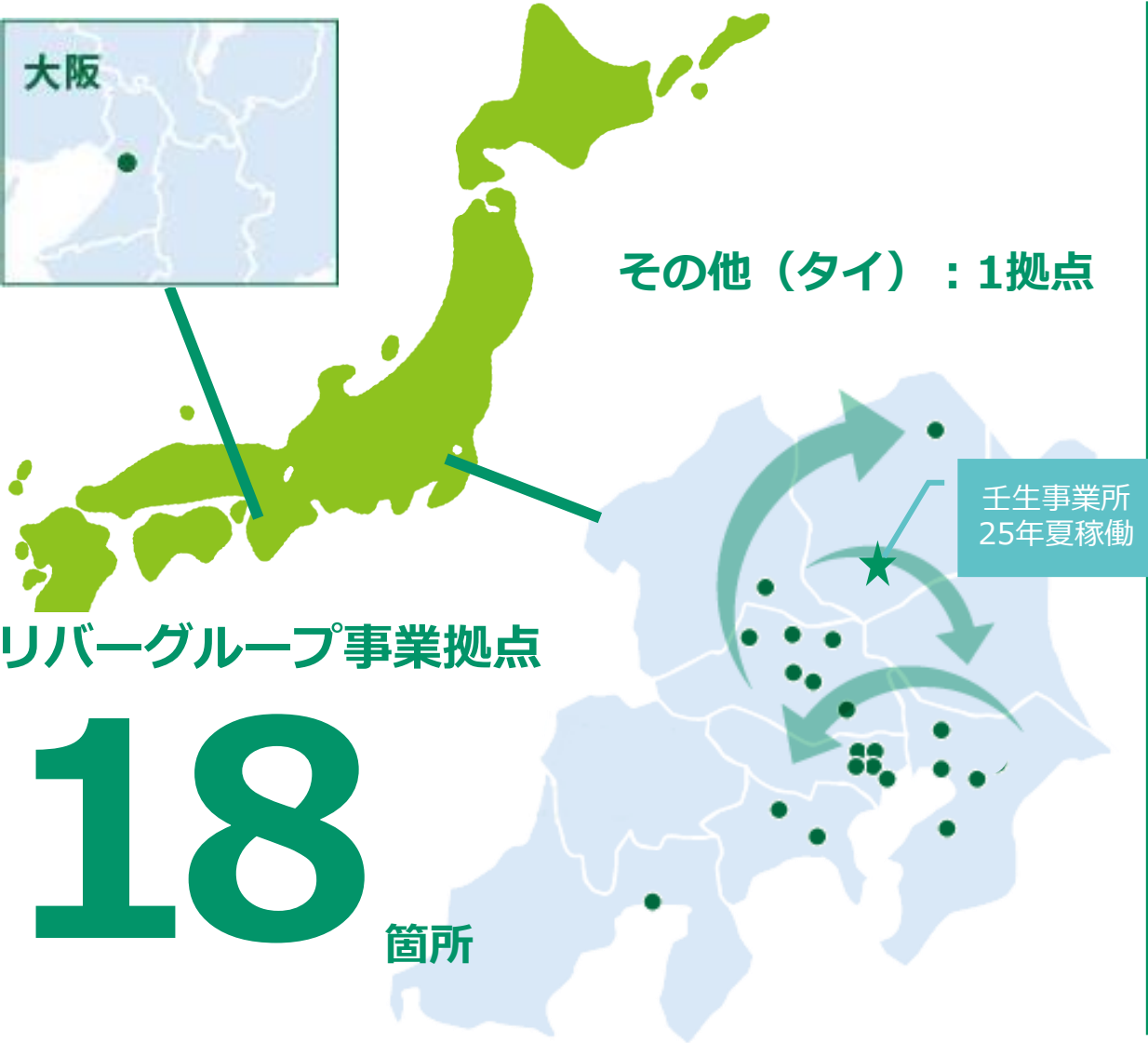
2025年3月末時点

東証PRM：9247

2.リバーグループの事業概要



事業会社3社 全国7つの大型シュレッダーを完備。日本で屈指の規模を誇る総合リサイクラー



3.CEの推進と動静脈連携の取り組み/投資について

1.住友化学×リバー Car2Car 樹脂マテリアルリサイクル

解体工程時に特定のパーツのプラスチックを取り外し、破碎・選別をリバーが実施し、ペレット化・コンパウンドを住友化学が行う。Car to Carリサイクルにチャレンジ。



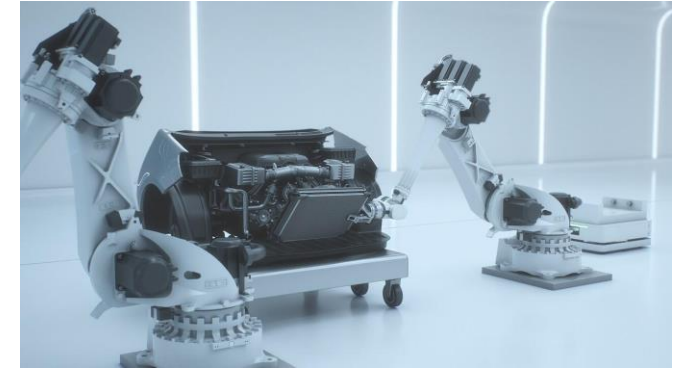
REVER社提供プラで再生したドアトリム部品（試作品）



その他、アルミ・銅の高度選別に向けた投資を検討中

2.BlueRebirth Car2Car水平リサイクル 自動精緻解体

（株）デンソーとリバー（株）を含む6社が発起人となり、30社以上が参画する、BlueRebirth協議会を設立。日本最大級の自動車CE組織。10月30日よりジャパンモビリティショーにも出展予定。



3.大型ダストソーティング 未利用資源の活用を推進

処理能力 4万t/年のダストソーティング工場を25年8月に稼働。プラスチックや非鉄を再選別・RPFを製造。27年 市原にさらに大型のダストソーティングを設備予定。



4.鉄スクラップの加工方法

鉄スクラップを加工する方法としては、「シャーリング、ガス切り、シュレッダー」の3つ存在。
シュレッダーは、異物・トランプメントの除去ができ、品質コントロールが可能かつ大量処理に優れた加工技術。
低品位な鉄スクラップをシュレッダーで加工し、高品位化していくのが一つの方向性。

▼各加工の特徴

	シャーリング	ガス切り	シュレッダー
投資金額	中	低	高
時間当たりの処理量	中	小	大
厚みの制限	中間	厚いものが得意	主に6mm以下
異物除去	一部可能	なし	可能
オペレーション	中	職人技	高度なノウハウ
許認可の必要性	なし	なし	母材によって必要

シャーリング



ガス切り



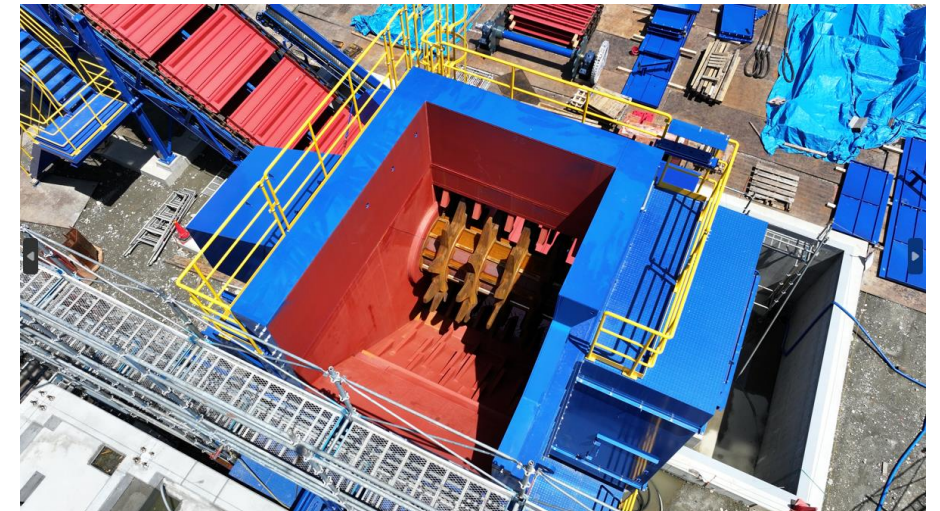
シュレッダー



シュレッダーは日本に約100事業所存在しているが、全国的に老朽化が進行。
今後の電炉化や再生材利用義務化、海外の資源コントロールなどで、高品位スクラップのニーズは高まると想定。
シュレッダープロセスの高度化など海外で技術革新や大型投資が起こっている。

5.高品位化に向けた具体的な取り組み

リバー川島事業所の大型シュレッダーのフルリニューアルを実施中。富士車両製 2,000馬力。
今回新しく“銅”をより除去できる設備ラインを構成し、高品位な鉄スクラップ製造へ挑む。26年2月稼働予定。

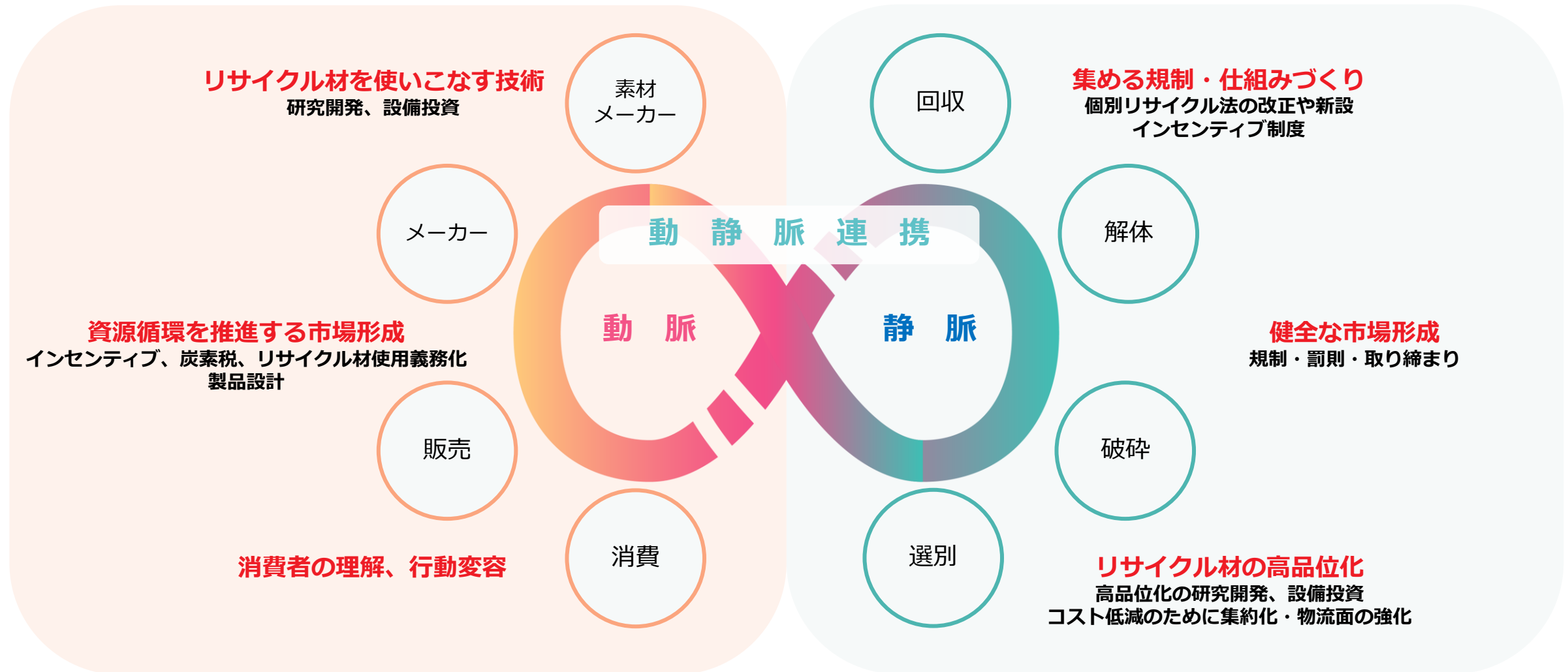


川島事業所は自動車解体事業を併設し、自動車解体の高度化投資も実施中。
自動車リサイクルを軸に先進的な事業所へ生まれ変わる。

6.動静脈連携と市場形成をすることにより経済安保にも寄与

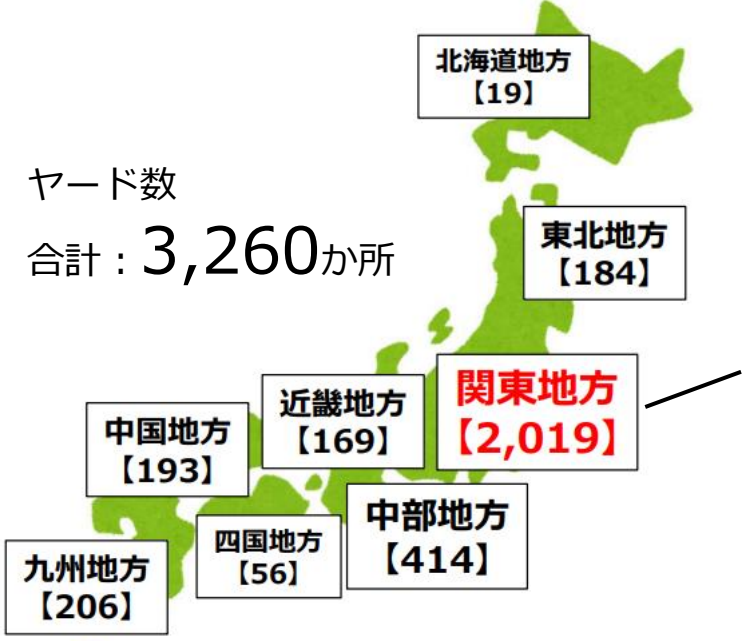
高品位なリサイクル材を創生・使用・使いこなすための、動静脈連携が重要。健全な市場形成を構築するためにも、不適正なヤードの排除や動静脈連携の両輪の活動が必要。

資源自給率が低い日本において、資源安全保障の文脈からもリサイクル材の高度活用は重要施策であると認識。



7.健全な市場形成のためにも不適正ヤードへの対応が急務

中国の環境規制後、**外資系のヤードが急増**。母国の輸入規程に沿った加工を行い、輸出されている。
スクラップヤードは有価物を取り扱って営業を行っているため廃掃法の規制対象外で、不適正処理、違法建築、違法労働、盗難品の取扱い、脱税など多くのコンプライアンス違反の下で操業している事業者が数多く存在。貴重な資源が海外に流出している実態。



➤ **再生資源物保管等事業場の把握数**
※実態ははるかに多くのヤードが存在している

ヤードでの不適正な保管

立ち上る黒煙 浜松市中央区のヤードで火災 金属スクラップなど焼く (R6.8.18 日テレニュース)



スクラップ置き場で火事
現場から黒煙上る
浜松市中央区小沢通町
きのの
きのう午後5時ごろ
「ヤードの中に積まれているごみが燃えている」と従業員などから消防に通報

<https://news.ntv.co.jp/n/sdt/category/society/sdfddd13f6998e4fcb9ff30e571bc29724>

三重 鈴鹿 廃材や車置かれたヤード火災 ほぼ消し止められる (R6.5.5 NHKニュース)



NHK NEWS

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240505/k10014441041000.html>

金属スクラップ等の盗難 (警察庁 第1回金属盗対策に関する検討会資料)

事例 (太陽光発電施設における金属ケーブル窃盗)

令和4年9月から令和5年7月までの間、茨城県など5県下の太陽光発電施設における銅線ケーブル窃盗事件でカンボジア人7名を逮捕 (うち6名が不法残留状態)。【群馬県警察】
➡ 窃盗事件76件 (被害総額約2億5,400万円相当) を送致。

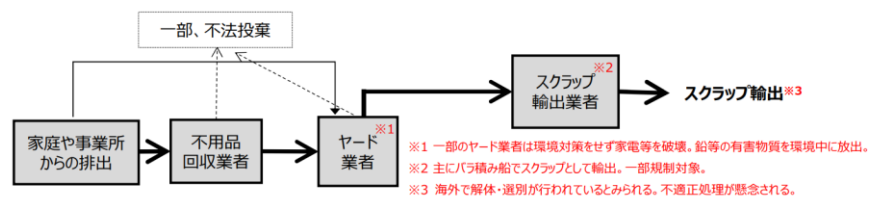
被害に遭った太陽光発電施設



押収した犯行車両・犯行用具及び盗品の銅線ケーブル



盗品は、群馬県の金属くず買取り業者によって買い取られていた。
更に、別のカンボジア人グループが茨城県の太陽光発電施設から窃取した銅線ケーブルも、同一の金属くず買取り業者によって買い取られていた。



※環境省：「ヤード環境対策検討会の取りまとめの報告について」「ヤードの現状と背景」より抜粋

「地球を資源だらけの星にしよう。」をビジョンに、
様々な挑戦・協力関係を築いていきます

循環経済時代のリサイクル・リソーシングパートナー

